

はっぴいバス 運賃値上げの再考を

日本共産党
住田 初恵



■はっぴいバス

問
(議員)

公共交通空白地域の解消及び高齢者等の交通弱者の外出行支援を目的として運行を開始したはっぴいバスの運賃が、路線バスより安価になるのは不適切との理由で値上げとなる。年金の減少や10月からの消費税増税などにより、高齢者の生活が厳しくなる状況下での運賃値上げは、再考すべきと思うが市の見解は。

答
(市側)

はっぴいバスは、路線バスを補完し、効率よく利用されることを重視してきた。バス利用が減少する中、路線バスとはっぴいバスの運賃格差が大きくなることで、路線バスの減便や撤退につながる懸念される。路線バスの維持や、はっぴいバスの継続的な運行のため、はっぴいバス利用者には一定の負担をお願いするが、少しでも負担が減るよう、割引率の大きい回数券や阪急バス専用ICカードを利用するよう周知に努める。

その他の
一般質問

高齢者福祉サービスについて／介護専門職の確保について



一
般

質

問

3月定例会では、19名の議員が行政全般について、市長などの執行機関に対し、さまざまな角度から質問しました。
ここでは、その質問の一部を掲載します。

2期目の市政運営に 向けた市長の思いは

輝(かがやき)
進藤 裕之



■かしこ暮らしっく長岡京

問
(議員)

中小路市長は、先に行われた長岡京市長選挙において再び当選し、2期目の任期を迎えることとなった。1期目では、「交流の拡大」「定住の促進」「まちの新陳代謝」を3つの戦略目標として掲げ、施策を進めてきた。2期目の市政運営に向けた市長の思いを問う。

答
(市側)

2期目のスタートにあたり、これまでの3つの戦略目標をベースにしながらも、長岡京市の未来を創る4つの大きな目標として「安心で豊かな暮らしづくり」「次の世代へとつなぐ魅力づくり」「新しいまちのかたちづくり」「市民の期待を超える市役所づくり」を掲げた。公共と民間の役割分担のもと、より連携を強化し、民間の力を最大限活用することや、ICT化推進による業務効率の見直しと市民サービス向上など、行財政改革の具体化に、徹底した対話で理解を得ながら取り組んでいきたい。

その他の
一般質問

スポーツ施策について

道の駅的施設は 民設民営か

輝(かがやき)
富田 達也



■道の駅的施設のあり方

問
(議員)

道の駅的施設を建設する場合は、基本的に民設民営が進めると聞く。民設民営方式であれば、銀行等の支援が必要となるため多様な審査を通す必要があり、少なからずリスクを軽減でき、民間感覚で運営できると考える。基本的に民設民営とのことだが、民間事業者が見つからない場合、公設での実施の可能性はあるのか、それとも道の駅的施設事業から撤退するのか、市の考えは。

答
(市側)

これまで、農業関係者にも、さまざまな視点から検討いただき、次年度以降には、出荷体制を整備するための準備会の立ち上げに向けた動きとなっていく。今後、サウンディング調査において民間事業者の提案募集を行い、提案内容を踏まえ、事業者との対話のもと、官民連携による事業化を検討し、進めていきたい。民間事業者が見つからない場合、施設の整備は難しいと判断している。

その他の
一般質問

男女共同参画について

なぜごみ袋指定制を導入するのか

日本共産党

浜野 利夫



■現状のごみの出し方

問（議員） ごみ袋のあり方を諮問した審議会で、手数料を加味しない透明・半透明のごみ袋導入との答申が出たが、なぜ市民にだけごみ減量の課題責任を負わせるようなごみ袋指定制を導入するのか。

答（市側） ごみの減量は市民、事業所、行政が一体となつて取り組むべきことである。事業系一般廃棄物についても、ごみ減量施策は既にさまざまな取り組みを進めており、決して市民にだけ課題解決を押し付けているわけではない。さらにごみを削減するうえで、本市では、ごみの有料化を選択するのではなく、負担感のより少ない、現在流通しているごみ袋の単価に近い、プライバシー等に配慮した半透明の袋を流通させる指定ごみ袋制度の導入を選択するに至った。審議会答申の内容を十分精査したうえで、制度導入の基本方針を定め、自治会等への説明会や街頭啓発など市民への周知に努めていきたい。

「SDGs」と環境基本計画の親和性は

日本維新の会と市民派の会

西條 利洋



■SDGsのマーク

問（議員） 2015年国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するために掲げられた2016年から2030年までの国際目標「SDGs」には、17項目の目標がある。その中の環境関連の目標と長岡京市第2期環境基本計画は、親和性が高いと考えるが市の見解は。

答（市側） 本市の第2期環境基本計画では、エネルギーを大切にすまちづくり、資源循環型社会の形成、自然環境の保全、快適な都市環境づくり、協働・環境学習・エコアクションの推進の5つの基本施策と目標を掲げている。「SDGs」の環境関連目標との親和性は極めて高く、基本計画並びに平成28年度から30年度を計画期間とした実施計画の目標を達成することが、「SDGs」の目標・理念に合致するものであり、自治体としての責務であると考え

その他の
一般質問

高齢者の健康寿命を伸ばすための取り組みについて

一般質問ってなに？

一般質問とは、**行政事務全般**について、議員が疑問に思ったことなどを質問することです。

議案とは関係なく、**自由に質問できる**ことが特徴です。

ぜひ、傍聴にもお越しください。



イエローチョーク作戦導入に対する考えは

公明党

石井 啓子



■イエローチョーク作戦

問（議員） 本市の犬のふん害に対する苦情に対しては、広報車の巡回や啓発看板の設置の対策がされているにも関わらず、効果が感じられないことも見受けられる。そこで、宇治市の職員が発案したイエローチョーク作戦が多く自治体で反響を呼び、効果を生んでいる。行政のリーダーシップのもと、市民や各種団体の御協力をいただく、飼主のマナー向上の啓発へ移行しながらイエローチョーク作戦を市内全域で取り組んではどうか。

答（市側） 犬のふん害対策は、さまざまなツールや機会を通して啓発に努めており、一定の効果があつたことから今後も継続して実施したい。イエローチョーク作戦は、飼主へのさらなるマナー向上の啓発を行う上では、大変有効な手段であることから、先行自治体の導入手法等を参考にしながら、地域や市民とさらなる連携を図り、導入を進めたい。

その他の
一般質問

子育て環境の充実について／緊急通報システムについて

学校教育の国際化に向けた取り組みは

公明党
山本 智



■英語教育

問（議員） 現在、本市の小学校では、外国語活動指導員を配置し、外国語活動の充実が図られている。新学習指導要領の全面実施を2020年4月に控えているが、それを見据えた英語教育の取り組みについて、本市としてどう進めていくのか。

答（市側） 現在は、全面実施への移行期間であり、外国語活動については、小学5、6年生で年間50時間、3、4年生で年間15時間の授業を実施している。また、本市独自のプログラムで、1、2年生への年間10時間の外国語活動や、市独自の指導案の作成、授業で円滑なコミュニケーションを図るため日本人AETの任用など、他市と比較しても充実した内容で英語教育を実施している。さらに、教員の指導力向上にも取り組んでいる。今後も、小中学校の一貫した学びの接続を意識し、対話的な言語活動を重視した英語教育をさらに推進していきたい。

その他の一般質問 ふるさと納税について／指定ごみ袋制度の導入について

運転免許証自主返納への特典の充実を

平成西山クラブ
田村 直義



■運転免許証自主返納

問（議員） 高齢者ドライバーによる事故は、全国的な問題となっている。高齢者ドライバーが運転免許証を返納しやすい環境づくり、自動車に頼らずに移動しやすいまちづくりが必要であり、本市では、公共交通ビジョンに基づき、特典付きで運転免許証自主返納支援事業を実施している。安全対策の観点から、本市独自の制度の特典を、さらに充実させることはできないか。

答（市側） 運転免許証自主返納制度は、平成26年5月から実施しており、これまでの返納者数は計1165人となっている。免許証返納者からは、タクシー補助券交付の要望が多くある。同支援事業の充実、高齢者の運転事故減少や、外出機会増加による健康増進などに一定効果があると考えており、平成31年度から、支援内容の一つにタクシー割引券として2000円の10回分を追加する予定である。

その他の一般質問 生涯学習に関して

避難所に乳児用液体ミルクの備蓄を

平成市民クラブ
寺嶋 智美



■乳児用液体ミルク

問（議員） 乳児用液体ミルクは、常温で一定期間保存ができ、粉ミルクよりも乳児に飲ませる手間が少ない利点がある。災害時、避難所に乳児が避難した際、衛生的な水や煮沸消毒が必要な粉ミルクで対応できるか難しいため、本市でもぜひ災害用に、乳児用液体ミルクの備蓄を進めてもらいたいと思うがどうか。

答（市側） 昨年8月に厚生労働省が省令を定め、基準に適合した乳児用液体ミルクを国内で製造・販売することが可能となった。国内メーカー2社が厚生労働大臣より乳児用液体ミルクの製造にかかる承認を受け、今春から販売が開始される予定である。乳児用液体ミルクは、粉ミルクと比べコストが割高で賞味期限が短いことや、容積が大きいため広い保管スペースが必要となるなどの課題がある。そのため、もう少し検討していく必要があるが、できるだけ早期に導入が図れるように努めていきたい。

その他の一般質問 出かけたくなる「まちづくり」に関して／高齢者が地域で生き生きと暮らせるために

自転車条例に係る市の責務は

平成市民クラブ
三木 常照



■安全で快適な自転車利用

問（議員） 平成30年12月議会で議員提出議案として可決した長岡京市安全で快適な自転車の利用の促進に関する条例が、4月1日から施行される。市は、条例の施行を受け、条例に規定されている市の責務をどのように果たそうと考えているのか。

答（市側） 本市では、交通安全教室の開催や自転車の安全利用に関する啓発を実施しているが、自転車関連事故の更なる減少を図るためには、ソフト面だけでなく、道路整備等のハード面の整備も推進していく必要がある。そのため、安全で快適な自転車通行空間を効果的・効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定する自転車ネットワーク計画を策定していく予定である。今後も、関係機関等の協力を得ながら、さらなる自転車に係る利用環境の整備促進とともに、交通安全対策の推進に努めることで責務を果たしていきたいと考えている。

その他の一般質問 市内の生活道路の交通安全対策に関して／本市の持続可能な水道事業運営に関して

不登校児童・生徒への 対応や支援は

平成西山クラブ
白石 多津子



■不登校児童・生徒

問（議員） 昨年10月、文部科学省は、2017年度に不登校の小中学生が16年ぶりに過去最多を更新したとの速報値を発表した。不登校になる理由は、子どもによっても年齢によってもさまざまであり、原因が特定しにくい。本市において、学校ではどのような対応をしているのか。

答（市側） 長岡京市においては、毎月3日以上欠席した児童生徒について、学校と市教育委員会で情報共有している。不登校の兆候を把握した際は、担任や養護教諭等が保護者と連携しながら、個々の事情に合わせた登校方法の相談や早期対応を丁寧に行っている。長期化が見られた場合は、学校内の管理職、教育相談部長、スクールカウンセラー等がチームとなり、支援方法を模索しつつ、教育支援センター、福祉関係機関、民間団体とも連携し、子どもと保護者とのつながりを大切にしながら支援を行っている。

その他の
一般質問

近年の本市の福祉施策の現状と、今後のあり方について／高齢者や障がいのある方のゴミ出し支援について

自治体PPSへの 市の考えは

輝(かがやき)
宮小路 康文



■エコな自治体PPS

問（議員） PPSとは、既存の電気事業とは別の特定規模電気事業者のことで、電力を発電・販売する会社を自治体が出資するなどの形式で運営することから、自治体PPSと呼ばれている。基本理念は、電力の地産地消を行い、収益は地域課題解決のために還元することで、市民の生活の利便性を向上させる。自治体PPSは、さまざまな課題に取り組みることができる施策と考えるが、市の考えは。

答（市側） 官民連携での再生可能エネルギー導入の手法の一つとして、自治体PPSは有効な手段である。今後も市民や企業等が、将来に向けた環境投資への参画と連携を強化することが、地域の環境、経済、社会の総合的向上と自立につながり、広域的な備えが構築できると考えている。低炭素から脱炭素社会へ、歩みを着実に進めるよう取り組みたい。

その他の
一般質問

宮農と環境について

一般質問などの情報は ホームページでも公開しています。



くわしくは **長岡京市議会** **検索** でチェック

議会情報

定例会や委員会等の開催日程や、政務活動費、調査研究の報告についても掲載しています。

会議録の検索

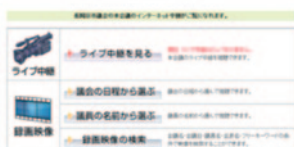
過去の会議録をデータベース化しています。気になる質問を簡単に検索できます。

議会の映像配信

ライブ中継と録画の映像を配信しています。パソコンでアクセスしてください。

※携帯電話・スマートフォンからはアクセスできません。

長岡京市議会インターネット中継



新病院建設に対する 支援の内容は

平成西山クラブ
上村 真造



■済生会京都府病院

問（議員） 済生会京都府病院は、本市の医療拠点であり、市民病院的な機関であるが、あくまで民間病院であると理解している。その病院に多額の税を投入するには、市民に対してしっかり説明し、理解を求めることが大変重要である。市として、支援の内容やスキーム、財源確保についての考えは。

答（市側） これまで本市が病院用地を無償で貸し付けて、済生会病院を誘致してきた経過を踏まえるなら、総事業費のうち土地取得費相当分が支援の一つの基準となり、金額は総額で約28億から30億円規模になると考える。財源確保については、現病院敷地の売却益などの活用を含め、市民の財政負担の軽減が図れるように検討する。また、京都府に対しても、新病院建設への財政支援を要望しており、府と市が協力・連携しながら、地域医療の確保・充実が図れるように努めていく。

なぜ神足保育所を 民営化するのか

日本共産党

小原 明大



■神足保育所

問（議員）

神足保育所が民営化される方針が出ているが、民営化されると、東部地域では公立保育所がゼロになる。市が直接責任を持ち、地域の子育て支援、親の支援の核にもなる公立保育所が、バランスよく配置されていることが望ましいと思うが、なぜ今、神足保育所を民営化なのか。

答（市側）

今回の民営化計画は、児童対策審議会からの答申を受けて、限られた資源と財源を最大限に活用して、多様化する子育てニーズに的確に対応することを目的に進めている。対象施設は、民間事業者への移行を円滑に行うため、独立した敷地で単体で管理運営ができ、当面は抜本的な改修等を必要としない施設がふさわしいことから、増改築を終えた神足保育所を対象とした。なお、本市にはコンパクトな市域に、公・民あわせて14の保育施設が設置され、バランスよく配置されていると認識している。

その他の
一般質問

「大型開発か福祉か」の論は「ミスリード」か／庁舎建て替えについて／長岡天神駅周辺整備について

保育事業者への支援は

日本共産党

広垣 栄治



■安定的な保育を

問（議員）

本市において、保育所を整備していくことは喫緊の課題であり、公立とともに民間の保育所を増やしていくことも重要と考える。民間の保育業者に積極的に進出してもらい、安定的に保育を続けてもらうためには、地権者と民間の保育事業者をつなぐ取り組みや保育事業者に対する運営補助などの施策が必要と考えるが市の見解は。

答（市側）

待機児童の解消が喫緊の課題となっている中、民間法人等による保育所、小規模保育施設の整備を促進することが重要と考えている。安定した保育所運営が期待できる法人に対して、保育所の整備に対する助成制度や埋蔵文化財の発掘調査に対する助成制度、施設整備のために借り入れをした資金に係る利子補給制度等により、積極的な開設支援を行っている。また、土地の確保や開発等に係る相談にも丁寧に対応している。

その他の
一般質問

市民との「対話」について

市庁舎建て替えの全体計画 を見直すべきでは

日本維新の会と市民派の会

小谷 宗太郎



■現在の市役所庁舎

問（議員）

新庁舎に保健センターを移すのであれば、土曜日も出入りを自由にしなくてはならず、その管理や、情報セキュリティの確保ができるのか疑問である。庁舎建設について、立ちどまり、細部にわたって検討を行い、サービスの需要予測や供給、問題対策などを庁内全体で考え直し、全体計画の見直しをする必要があると考えるが市の見解は。

答（市側）

新庁舎整備は、これまで広く市民の意見を伺ってきた。新庁舎内の出入りの管理については、複合施設特有の課題として、また、情報セキュリティの確保については、情報系の専門業者も含めて、それぞれ検討を行っており、今後、実施設計段階で対策の詳細を確定していく。現在は、全体計画を見直すのではなく、これまで積み重ねてきた議論の上で作成された案をより具体的に、詳細に検討する段階であると認識している。

その他の
一般質問

行政の相談事業について／大型開発事業の安全対策について

西乙訓高等学校での 避難所開設は

日本共産党

二階堂 恵子



■西乙訓高等学校

問（議員）

長岡第五小学校地域は、市のハザードマップにおいて多くの地域が、土砂災害警戒区域等に指定されている。災害時に、住民の命と安全を守る立場から、長岡第四中学校、長岡第五小学校と同時に、西乙訓高校を避難所として開設することについて、市の考えは。

答（市側）

原則として、まずは市立施設での受け入れを優先するが、これまでの災害対応を振り返るなか、昨年12月、西乙訓高校と災害協定における避難所開設の考え方や開設までの手続き等について再確認をした。避難指示が発令されるような大規模な災害が発生または発生の恐れがあり、市立施設だけでは対応できないと判断した場合、協定に基づいて西乙訓高校に対して避難所開設の要請を行い、市から施設の開設及び避難所の管理運営の要員を派遣し、避難所を開設したいと考えている。

その他の
一般質問

自主避難所への積極的援助を／済生会京都府病院が移転した跡地（市有地）を市民のために

新庁舎における産業文化 会館的機能などの充実は

平成市民クラブ
中小路 貴司



■新庁舎のイメージ

問（議員）

庁舎等再整備基本設計案では、産業文化会館の機能と保健センターの機能が導入されると聞く。今まで産業文化会館で行う各種イベントは、屋外利用もあり、主催者は天候に苦慮されてきた。新庁舎における産業文化会館的機能の充実や、中心市街地のにぎわい創出の拠点として、市の考えは。

答（市側）

新庁舎における産業文化会館の機能は、二期庁舎の1、2階部分に配置し、1階の大会議室とロビー部分、市民広場の一体利用が可能なレイアウトを予定している。市民広場に、屋根をかけることで、イベント開催時はもちろん、災害時などあらゆる場面で天候に左右されずに利用が可能となる。産業文化会館や保健センターの機能、市民広場も含め、一体として新庁舎を整備することで、本来の用件以外の情報に触れる機会が増えるなど、庁舎の機能付加によるさまざまな相乗効果を期待している。

その他の
一般質問

地域経済の活性化に関して

民生児童委員に対する 市長の思いは

輝(かがやき)
大伴 雅章



■一日民生児童委員をする市長

問（議員）

ひとり暮らしの高齢者や障がい者、ひとり親家庭などの身近な相談相手として地域を支える民生児童委員は、現在総数142人が無報酬で活動されている。本市の民生児童委員の80・6%が60歳以上を占め、なり手不足は全国的にも深刻な問題である。市長の民生児童委員への思いは。

答（市側）

民生児童委員は、高齢者の見守り活動や、災害時要配慮者支援など、重要な役割を担っている。しかし、その活動内容や役割、現在直面している地域課題などを知っている市民は必ずしも多くない。民生児童委員自らが活動内容を伝え、地域住民の理解を広げることも重要だが、その機能を発揮するために、市がしっかりとサポートする体制を整えることが大変重要である。今後とも、民生児童委員の活動しやすい環境づくりに努め、民生児童委員の確保を図っていきたい。

その他の
一般質問

平成から新元号へ

議会TOPIC

「質問」と「質疑」の違いとは？

質問と質疑。似ていますが、議会では以下のように使い分けをしています。

▶ 質問とは

議会において「質問」とは、一般質問のことをいいます。一般質問とは、議案とは関係なく、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況や将来に対する方針などについて、市長などに説明を求めたり、疑義（疑がわしい事柄）を質す（明らかにする）ことです。

長岡京市議会では、定例会のみに許可されており、質問者は事前にその要旨を文書で通告（一般質問通告要旨を提出）する必要があります。

▶ 質疑とは

質疑とは、質問と異なり、議題（提出された議案）についてのみ、提出者（市長や議員など）に疑問や不明なところを質すことをいいます。

長岡京市議会では、「質疑は、同一議員につき、同一議題について2回をこえることができない。」と会議規則に定められています。

